



日本共産党佐々町議会議員

## 永田かつみの 議会報告

### 小・中学校エアコン

### 全教室 来年夏まで設置へ

9月議会で町長は、小中学校のエアコン設置について「来年夏に間に合わせたい」と表明しました。これは、永田かつみ議員の質問に答えたもの。

永田議員は「今年の夏の猛暑は『災害レベル』であった。熱中症発生は1・8倍。「こどもの命に関わる問題」との町民の声も寄せられた。設置の実行時期を示されたい」と早期実施をあらためて迫りました。

エアコン設置をめぐっては、小中学校の保護者をはじめ、多くの町民から要望のこえが上げられました。

特に民生児童委員協議会・町内会長会でも強い要望が寄せられ、町議会・産業建設文教委も中学校の現地調査を実施するなど、各方面から、早急な実現にむけた働きかけが強められました。

そうしたうごきを受けて、町当局は9月議会にて、「エアコン設置実施設計の補正予算」を提案、町議会

も全会一致で可決したことにより、次年度早期の設置実現の見通しとなりました。

小学生児童のお母さんからは「実現できてすごいです。こども達も喜んでます」との声が寄せられました。また、「必要なことは声を上げないとダメですね」という意見も寄せられました。

### 小中学校トイレ 改修も来年から

9月議会で永田議員は、トイレの洋式化に向けた改修についても今後の計画を質問。

町長は「小学校は来年度、中学校は再来年度に実施する」と表明しました。これによって「3校とも洋式トイレが75%程度になる」と

の答弁がありました。

### 就学援助の基準緩和へ

県下で最も基準が低かった就学援助（準要保護）の認定基準（現行・生保の1・0倍）について、教育長

は生保基準の「1・2〜1・3倍に改善したい」と答弁しました。この間生活保護基準が引き下げられ、就学援助対象者が制限される中で、子育て世帯には朗報となりました。

### 町内交通（コミュニティバス）の検討を

9月議会質問で永田議員は、高齢者の外出支援として現在行われている「タクシー利用券補助（月4枚・初乗分）」について取り上げました。

永田議員は、現在の制度について「喜ばれているが、利用は対象者の半数で、利用券はさらに半数しか使われていない。全体で4分の1の利用であり、さらなる検討が必要だ」と指摘しました。

永田氏はまた、学童の通学や高齢者の通院・買い物支援など「外出支援」にとどまらない町内交通全体について、検討会や内部検討チームを設置していく必要性を指摘しました。

全国の町では「循環バス」「コミュニティバス」など、100円程度の低料金で自治体バスが運行しています。佐々町でも町民の足を支える仕組みをぜひとも実現していこうではありませんか。

### 「原発再稼働」で太陽光発電停止

東京電力福島第一原発事故のあと、再生可能エネルギーの中でも太陽光発電が急速に拡大しています。ところが九州電力は大規模停電を起こしかねないとして、太陽光発電の出力を押さえ

る暴挙に出ました。

3月に玄海原発3号機・6月に4号機をあいっいで再稼働した九電。その一方で10月13・14・20・21日、11月3・4日の6回にわた



里山の歩道改修できました

里山第2団地のみなさんから「地割れして放置すれば危険。改修してほしい」と要望されていた、団地上部の歩道改修が終わりました。